中国地方・奈良・京都~さくら巡り~その2(福山・尾道)

山本 雅晴

福山には 15 年ほど前に 2 度来たことがある。その時に市立美術館と博物館を訪れた。もう一度は生口島の平山郁夫美術館に行くため福山から高速バスを利用した。今回の訪問目的の一つは国宝の明王院の五重塔を訪れることである。11 ある国宝の五重塔で唯一未訪問であった。福山市は人口約 45 万人で広島県第2の工業都市で、JR 駅のすぐ近くに城がある。東京から"のぞみ"号で約 3.5 時間で割合便利であった。

3月28日の10時前に福山に着き、天気も良かったので桜が満開の福山城を訪れた。駅前のホテルから歩いて数分のところにあり、ライト・アップした城も写真に収めた。



写真1 朝の福山城(JR 駅北口から)



写真2 ライト・アップした福山城

今回の目的の一つである明王院は駅から約3kmで公共のバスなどの交通の便がやや悪いので、駅からタクシーで訪れた。観光客は一人もいなかった。快晴で樹木の新緑と満開の枝垂桜と国宝の五重塔の赤色が際立って美しかった。国宝の11番目の五重塔の白眉を飾るにふさわしい光景であった。



写真3 国宝の明王院五重塔



写真4 国宝の明王院本堂

尾道:3月28日の午後、福山からJR在来線で約20分の尾道を訪れた。尾道は2010年に生口島の平山郁夫美術館の帰りに通ったことがある程度で一度は訪れてみたいと思っていた。伝統ある坂の町として小説家や映画監督の大林宜彦の映画で有名である。駅から海に面した南斜面の坂を登って行った。写真1

写真2は頂上付近からの尾道市立美術館の建物で、和瓦の和風の外観の建物前に安藤忠雄の設計で洋風の建物を追加改装した。「平松礼二展」(町立湯河原美術館所蔵)が開催されており、70 才以上は無料で20~30 分鑑賞した。装飾的な日本画で、2000~2010 年まで文芸春秋の表紙絵を描いていた。その原画も展示されていた。千光寺公園一帯には各種の桜が一万本ほど植えられて、広島県一の桜の名所といわれておりソメイヨシノは満開であった。

写真3は細長い白亜の展望デッキからの瀬戸内海・しまなみ海道の眺望、快晴で見晴らしも良かった。 写真4は806年開基の名刹で一帯は寺領だった。竜宮造りの鐘楼の鐘は除夜の鐘で有名らしい。



写真1 坂道にある典型的な古寺・持光寺



写真 2 千光寺山(標高 137m)の頂上付近からの眺望



写真3 展望台からの瀬戸内しまなみ海道の眺望



写真4 千光寺の門と竜宮造りの鐘楼

4 時間ほどの滞在で国宝の浄土寺も見れなかったが、天候に恵まれ尾道の最高の桜が鑑賞できた。しかし、歩くことでしか移動の手段のない斜面の家並みには廃屋になった家々も目につき一抹の侘しさを感じた。